

親亡き後を生きるひきこもり当事者の老後を支え合う事業

ひきこもり当事者の老後について

—みんなで寄り添い



—合ってできること—



令和5年5月に北海道内の関係団体の協力のもと、北海道ひきこもりの老後を支え合う連絡協議会、通称：道ひきこもり連協が設立されました。これまで支え手であった親が要介護状態から亡くなっていくことだけではなく、当事者本人も老いていきます。親亡き後一人で暮らしているケースも少なくありません。孤独孤立の課題もありますが、それ以上にひきこもりの老後をどうやって生活を維持していくかが問われています。

そこで、こうした現状を踏まえ、第一部では基調講演と50代当事者によるミニシンポジウム、第二部ではグループワークを企画し実施することになりました。参加者の皆さんとともにひきこもりの老後を考えていきましょう。

日時

2023年8月27日

13:00~15:30

場所

北海道立道民活動センター「かでの2・7」
9階940研修室



JR札幌駅
南口から
徒歩13分

地下鉄大通駅
1番出口から
徒歩9分

札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル

利用対象

ひきこもり当事者やその家族、支援者、関心のある市民

参加費

500円 ※当事者は無料

定員

30名

申し込み方法

事前申し込み不要当日受付いたします

※来場の際は新型コロナウイルス5類に準拠した感染防止策対応にご協力のほどお願いします。

問い合わせ先

特定非営利活動法人

レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク

〒064-0824 札幌市中央区北4条西26丁目3番2号

TEL.090-3890-7048

メールでの
受付は
コチラ



レター・ポスト・
フレンド
WEBサイト



講師



大田原 守穂 氏 (当事者)

Profile

長年大工として従事するも、双極性障害等で体調を崩しひきこもりを繰り返す。様々な自助グループに参加するも、フリーペーパーで知った居場所「よりどころ」に2018年8月から参加するようになる。気さくな人柄から当事者から慕われる。2022年11月にすい臓がんがあることがわかり現在闘病中。また両親が認知症で介護にあたる。妻は障がいで、生活は同居する一人息子である長男が工面している。58歳